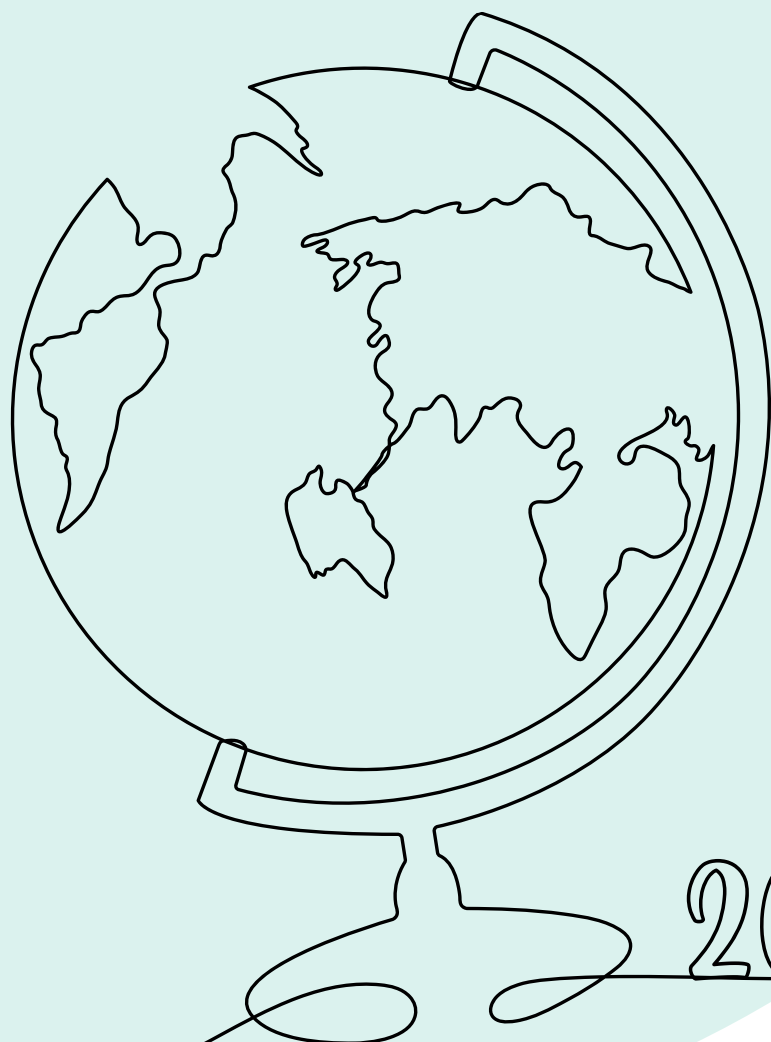


鹿大「進取の精神」支援基金 令和6年度事業報告書

学生海外派遣事業／留学生受入推進事業



進取の精神

ご挨拶



グローバルセンター長
尾崎 孝宏

「鹿大『進取の精神』支援基金」によって平成28年度から開始した「学生海外派遣事業」、「留学生受入推進事業」は、令和6年度も継続することができました。

本基金は、県内の経済団体、医療団体及び農水産業団体等を筆頭とする地域の皆様のご寄附によって実現したもので、本当に感謝に堪えません。

コロナのパンデミック以降、国際情勢や経済状況は大きく変化しました。鹿児島大学では、カリキュラムの不断の見直しを通じ最新の社会情勢に対応できる人材の育成に力を注いでおります。

今後とも、変わらぬ支援を賜れましたら幸いです。

事業予算及び執行状況

鹿大「進取の精神」支援基金に貴重なご寄附をお寄せいただき、誠にありがとうございます。
令和6年度は総計**約2,632万円**を支出しました。

▼ 令和6年度 事業予算及び執行状況

単位（円）

令和6年度	学生海外派遣事業	学生海外受入事業	合計
予算	17,900,000	19,020,000	36,920,000
執行状況	14,279,313	12,041,046	26,320,359



支援者数

◆学生の海外派遣数と海外学生の受入数

鹿児島大学では皆様にご支援いただいた基金を活用し、留学等の国際活動を行う学生に対して支援・指導を実施しています。令和6年度は**206名**の国際活動に対して支援しました。

令和6年度
206
名

	学生海外派遣事業				留学受入推進事業		
種別	長期派遣 留学	中期派遣 留学	短期 海外研修	語学力 強化	協定校 学部留学生 受入	全学交流 推進受入	短期 受入
令和6年度 支援者数	19	15	112	30	1	7	22

就職者数

◆支援学生の卒業、修了後の動向

これまで延べ**698名**（内訳：卒業・修了者数602名、大学院進学者96名）に対してご支援いただき、内**130名**が鹿児島県内に就職しています。（複数名の場合は括弧内に人数、それ以外は各1名）

県内
130
名

病院 医療関係 46名	鹿児島大学病院（22）/鹿児島県立大島病院（5）/鹿児島医療センター（4）/南風病院（2）/今村総合病院（3）/愛育病院（2）/鹿児島市立病院（2）/伊集院産婦人科/霧島市立医師会医療センター/いまきいれ総合病院/寿レディースクリニック/鹿児島県保健師/徳之島徳洲会病院
県、市、 JA等 40名	鹿児島県職員（13）/鹿児島県教員（11）/鹿児島市職員（7）/厚生労働省鹿児島労働局（2）/鹿児島地方裁判所/曾於市森林組合/JA鹿児島県連/薩摩川内市/日置市/鹿児島県森林整備公社
民間企業等 42名	(株)新日本科学（5）/(株)健康家族（2）/リコーITソリューションズ(株)（2）/(株)南日本放送（3）/(株)サタコンサルタンツ（2）/SCSKニアショアシステムズ(株)/アサダメッシュ(株)/いわさきグループ/イタリア料理イルチブレッシン/上野物産(株)/(株)鹿児島銀行/鹿児島日産自動車(株)/濱田酒造(株)/三井住友信託銀行(株)/島村楽器(株)/(株)ジャパンファーム/(株)現場サポート/大福コンサルタント(株)/(株)久永コンサルタント/鹿児島トヨタ自動車(株)/南国殖産(株)/南国交通(株)/(株)下園薩男商店/(株)ARS/(株)島津興業/(株)サナス/岩崎産業(株)/税理士法人押井会計/(株)JR鹿児島シティ/鹿児島トヨペット(株)/(株)南日本銀行/ピクオス(株)/マルエーフェリー株式会社
NPO法人 2名	NPO法人心音/NPOグローバル・フォレスター

学生海外派遣事業

長期派遣留学

- 1 学期以上 1 年以内 -

13 か国・地域 19 名

私たちの留学報告は
QRコードから！



▼ 令和 6 年度 長期派遣留学（協定校派遣留学）支援一覧

No.	派遣国・地域	派遣先機関	支援学生数	所属
1	韓国	釜慶大学校	1	法文学部
2	台湾	淡江大学	1	法文学部
3	インドネシア	ボゴール農科大学	1	農林水産学研究科
4	オーストラリア	シドニー工科大学	1	理学部
5	アメリカ合衆国	ハワイ大学マノア校	1	農学部
6	メキシコ	ヌエボ・レオン自治大学	1	農林水産学研究科
7	ノルウェー	トロムソ大学	2	水産学部 農林水産学研究科
8	スウェーデン	リンシェーピング大学	2	法文学部 工学部
9	イギリス	セントラル・ランカシャー大学	4	法文学部 医学部
10	フランス	ソルボンヌ大学	1	理工学研究科
11	ドイツ	カール・フォン・オシエツキー大学オルデンプルク	2	法文学部 農林水産学研究科
12	スペイン	バレンシア工芸大学	1	農学部
13	トルコ	アンカラ大学	1	法文学部



榎原 里奈

トロムソ大学
農林水産学研究科 2 年

私は水産物輸出大国であるノルウェーに5か月間留学しました。留学の成果として、トロムソ大学生物水産経済学部において3つの講義で単位を取得し、水産食品科学コースの教授のもとで「魚の締め処理方法の違いがヨーロッパ発祥の考え方であるアニマルウェルフェア（動物福祉）および製品の品質に与える影響」について調査しました。また、養殖場や加工工場、乗船実習でのフィールドワークを通じて最先端の水産産業を現地で体感することができました。

この経験を活かし、鹿児島および日本の水産産業の活性化に尽力していきます。数多くの貴重な経験を得たこの留学に際し、派遣旅費のご支援を賜りました。寄付者の皆様に心より感謝申し上げます。

Norway



中期派遣留学

- 31日以上90日以下 -

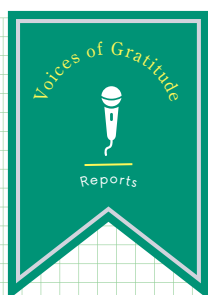
3 研修 4 か国・地域 15 名

私たちの留学報告は
QRコードから！



▼ 令和6年度 中期派遣留学 支援一覧

No.	開講部局	授業科目名	担当教員	支援 学生数	派遣国・地域
1	医学部	選択実習	中村 雅之	1	アメリカ合衆国
				4	インドネシア
				3	ドイツ
2	理工学研究科	STEMのための国際コミュニケーション 海外研修 (GOES)	古澤 仁	2	オーストラリア
3	共通教育 センター	グローバル実地研修 地域人材育成プラットフォーム かごしまグローバル教育プログラムの実地研修	難波 美芸	5	オーストラリア



長野 壮真
グローバル実地研修
工学部3年

パース研修は私にとって初めての海外であったため、渡航前は不安を感じていました。しかし、オーストラリアでは友好的な方が多く、友達も作りやすかったため、有意義に過ごすことができました。

オーストラリアは多国籍国家であり、様々なバックグラウンドを持つ方が多いため、より異文化理解を深めることができました。

また、研究を通して現地に住む幅広い年齢層の方々とともに話をすることができ、様々な考えに触れることができました。研修を通して高めることができた英語力や異文化理解の力を専門分野にも生かしていきたいです。

Australia



Indonesia



前田 美咲季
選択実習
医学部5年

研修前は英語での症例報告に不安がありましたが、1か月に1症例、教授をはじめとする先生方の前で発表する機会を重ねる中で、自信がついてきました。特に、レジデントの先生方の症例報告から、英語での報告の流れや要点のまとめ方を学ぶことができ、大変参考になりました。発表前にはスライドを見てもらい、疾患の理解だけでなく、論文の探し方や情報の整理の仕方なども丁寧に教えてもらいました。

こうした経験を通して、プレゼンテーション力に加えて、必要な情報を分かりやすく整理して伝える力や、英語で表現する力も伸ばすことができたと感じています。



短期海外研修

- 30日以下 -

19 研修 13 か国・地域 112 名

私たちの留学報告は
QRコードから！



▼ 令和6年度 短期海外研修 支援一覧

No.	開講部局	授業科目名	担当教員	支援 学生数	派遣国・地域
1	法文学部	文化人類学実習 1	兼城 糸絵 尾崎 孝宏 山下 慶	9	韓国
2	教育学部	科学技術教育環境開発論	内ノ倉 真吾	5	ドイツ
3	歯学部	海外歯科研修プログラムⅡ	平間 雅博 西谷 佳浩 犬童 實子 三浦 裕仁	2	インドネシア
4	歯学部	海外歯科研修プログラムⅢ	平間 雅博 西谷 佳浩 犬童 實子 三浦 裕仁	1	インドネシア
				2	韓国
				1	マレーシア
5	歯学部	海外歯科研修プログラムⅣ	平間 雅博 西谷 佳浩 犬童 實子 三浦 裕仁	2	インドネシア
				2	台湾
6	歯学部	海外歯科研修プログラムⅥ	平間 雅博 西谷 佳浩 犬童 實子 三浦 裕仁	2	マレーシア
				3	カナダ
7	農学部	海外研修	M.C.Mfister-Gardt	8	インドネシア
8	農学部	国際森林論	加治佐 剛	4	ドイツ
9	農学部	卒業プロジェクト	香西 直子	1	タイ
10	水産学部	海外研修・実用英語（海外研修）	石崎 宗周	11	フィリピン
11	共同獣医学部	国際獣医学インターンシップA	有村 卓朗	5	フランス
12	保健学研究科	離島・地域母子保健学演習	若松 美貴代	7	イギリス
13	理工学研究科	国際学会特別研修	金子 芳郎	10	アメリカ合衆国
14	農林水産学研究科	海外森林・林業事情	加治佐 剛	4	ドイツ
15	農林水産学研究科	Tropical Fisheries	石崎 宗周	3	フィリピン
16	共通教育センター	海外異文化体験実習（台湾研修）	加藤 慧	10	台湾
17	共通教育センター	グローバル人材育成（雲南）	兼城 糸絵	3	中国
18	共通教育センター	国際感覚を持つバイテク人材育成	花城 勲	7	タイ
19	共通教育センター	進取の精神海外研修inベトナム	山口 明伸	10	ベトナム

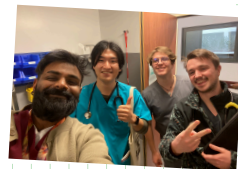


宮脇 有人
国際獣医学
インターンシップA
共同獣医学部
5年

この度、鹿大「進取の精神」支援基金の援助を賜り、フランスのAlfort大学にて獣医学の研修に参加しました。私は2週間フランスに滞在し、現地で日本との違いを感じながら勉学に励むことができました。

Alfort大学では、学生が自主的に物事を考え、獣医師に提案・意見を述べており、私はその姿に大変刺激を受けました。今回の研修で一番学んだことは、診療の方向性について自分の意思を明確にし、積極的に意見を述べることでした。

今後はこの姿勢を忘れず、また仲間にも共有し、獣医学の勉強により一層励んでいきたいと思います。ご寄附いただいた皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



France



山口 絵万
進取の精神
海外研修inベトナム
工学部2年

この度、鹿大「進取の精神」支援基金の援助を賜り、ベトナムにおける研修活動を行いました。現地では、ベトナムの学生との交流を通じて市内や文化施設の見学などを行い、日本とベトナム、さらにはアジア全体の歴史や文化への相互理解を深めることができました。また、現地の教育システムや日越の教育の違いを学び、JICAを訪問してベトナムの経済発展における日本の支援状況についても理解を深めました。さらに、現地の農業や工芸を見学・体験し、伝統的な運営方法の利点と課題を考えるとともに、最新の日系企業を訪れて最先端のIT技術や生産システムについて学びました。現地での経験は、単に知識を得るだけでなく、語学力以上に「伝えようとする気持ち」の重要性や、多文化理解、グローバルな視点の大切さを改めて実感させてくれました。今後も進取の精神を持ち続け、さらに多くの国々との交流を深め、学びを生かしていきたいと考えています。この場を借りて、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



Vietnam



小園 美夕
離島・地域母子
保健学演習
保健学研究科1年

イギリスのNHSという医療制度や周産期の支援体制、周産期における課題について事前学習をふまえた学習を現地で実施することができました。特に、周産期の母子を取り巻く支援については、母児に異常がない場合には助産師が妊娠期から産後まで中心となって支援を実施している現状に驚きました。日本のほとんどの病院では、13回の妊婦健診すべてに医師が介入しますが、イギリスで正常妊娠経過である場合、医師が健診を行うのは2回のみでありその他のすべての健診は助産師によって行われていました。助産師の責任や能力、プライドの高さを学ぶことができました。



United Kingdom

語学力強化プログラム

30 名 (前期 15 名 後期 15 名)



Thank you!

本プログラムでは、留学や就職に役立つ実践的な英語力を身につけるための英語学習の機会を提供しました。オンラインで海外の講師とマンツーマンで会話練習ができる「学研オンライン英会話」を活用し、伝統文化や食料自給率など幅広いテーマについて学びました。学生たちは実際の会話を通じて英語力を向上させ、さらに授業で扱った話題について交換留学生とのディスカッションの場も設けました。



ขอบคุณมาก

Tusen takk

감사합니다

担当者より感謝の声

- 学生海外派遣事業 -

長期派遣留学 担当



難波 美芸

グローバルセンター 講師

昨年度は19名の学生が欧米アジア13か国の協定校に留学し、貴重な経験を積むことができました。留学先では語学の習得はもちろん、異文化交流を通じて視野を広げ、大きく成長しました。帰国後の報告会では、各自が得た洞察や挑戦を乗り越えた経験、現地で実施した研究内容を発表し、成果を共有しました。

加えて、国際経験を通して地元・鹿児島の文化や社会への関心も深まり、地域と世界をつなぐ視点が育まれています。円安や物価高によって留学のハードルが高まる中、皆様のご支援により海外で学ぶ機会を得られたことは、学生たちにとって非常に意義深いものです。引き続きのご支援に心より感謝申し上げます。

短期海外研修 担当



花城 勲

農学部農学科 准教授

私が担当したタイでの現地活動では、「農業分野におけるカーボンクレジット」をテーマとした問題発見解決型学習に取り組み、JICAタイ事務所では、時代と共に変化する日泰関係のあり方を、国立食品研究所では、タイ政府主導による「世界のキッチン」を担う戦略的な取組みの事例を学びました。これらの実体験を通して、今後のグローバル・グローバルな文脈における学生各自の立ち位置・役割や、それらの実現に向けての課題についての気づきを提供できたのではないかと思います。

本事業の実施に際し、学生海外研修支援事業によるご支援をいただきました。厚く御礼申し上げます。



OVERSEAS SHOTS

Our Another Sky



農学部・農林水産学研究科
国際森林論/国際森林・林業事情
(ドイツ)



医学部
選択実習
(インドネシア)

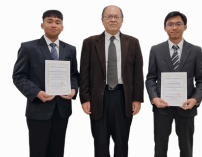


共通教育センター
進取の精神海外研修inベトナム
(ベトナム)

留学生受入推進事業

全学グローバル交流推進事業 (留学生受入プログラム)

アメリカ合衆国 1名 インドネシア 2名 タイ 1名 マレーシア 3名



私たちの留学報告は
QRコードから！



本事業では、海外の協定大学から学生を受け入れ、日本語や日本文化の学びや国際交流の機会を提供しています。また、地元でのインターンシップなどを通じ、学生が地域と関わる体験も推進しています。これらの取り組みを通じて、大学を拠点に地域の国際化を目指しています。

▼ 令和6年度 全学グローバル交流推進事業（留学生受入プログラム）支援一覧

No.	国	協定校	人数	所属	受入教員
1	インドネシア	ディポネゴロ大学	2	医学部	花谷 亮典
2	タイ	メーファールアン大学	1	農林水産学研究科	濱中 大介
3	マレーシア	マレーシアトレンガヌ大学	3	理工学研究科	上野 大輔 児玉谷 仁 本村 浩之
4	アメリカ合衆国	サンノゼ州立大学	1	法文学部	スティーブン・コーダ



MUHAMMAD
HANIF BIN
FADZLI

マレーシアトレンガヌ大学

The visiting delegation from University Malaysia Terengganu (UMT) participated in a collaborative academic session at Kagoshima University as part of a goodwill exchange. The session emphasized mutual knowledge-sharing, with both institutions exchanging insights into research methodologies and best institutional practices. This visit not only strengthened international academic ties but also laid the groundwork for future cooperation, including student exchanges and collaborative research projects.



From Malaysia



SUPAPICH
CHALUMPOT

メーファールアン大学

Conducting experiments, taking a language course, embracing traditional customs, and participating in a matcha class allowed me to immerse myself in various aspects of Japanese life. One of my key learning experiences in Kagoshima was participating in scientific experiments. I had the opportunity to work in a laboratory setting, where I learned about various scientific methods, laboratory equipment, and procedures. This hands-on experience deepened my understanding of experimental techniques and enhanced my practical skills in conducting research.



From Thailand

協定校学部留学生 地域交流推進プロジェクト

アメリカ合衆国

1名



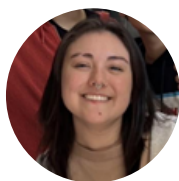
私たちの留学報告は
QRコードから！



本プロジェクトでは、海外の協定校から日本語や日本文化を学びたい学生を鹿児島大学に受け入れ、5か月または11か月間、日本語の勉強やインターンシップ、地域交流の体験をします。これにより、留学生が出身国と鹿児島をつなぐ人材として成長し、地域活性化に貢献することを目指しています。

▼ 令和6年度 協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト 支援一覧

国	協定校	人数	所属	受入教員
アメリカ合衆国	サンノゼ州立大学	1	法文学部	竹内 勝徳



JACLYN FAY
CONNER

サンノゼ州立大学

鹿児島で、授業やバイトなどの日常生活を通して日本語が上達し、友達ができ、自分の国を意識的に代表しながら違う文化を経験する方法を学びました。一つ一つの関わりから成長して、自分で生き方を学びました。町を楽しんで、文化にも慣れてきて、特に出会った人たちのおかげで、鹿児島で過ごした時間は素晴らしかったです。友達や鹿大のスタッフ、そして現地の方々と経験を通して、コミュニケーション能力が上がり、文化の理解と配慮の気持ちが育ちました。帰国後は、日本語能力試験を受けて、来年大学を卒業する予定です。鹿児島で会った友達と連絡を取り続けて、将来赤十字社か他の方法を通して、絶対鹿児島に戻るつもりです。日本で一年のおかげで、新たな夢が見えて、将来を楽しんでいます。



From America

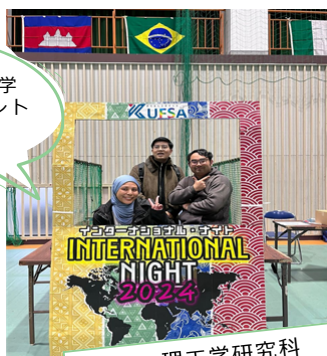
短期受入

短期受入事業では、台湾・国立成功大学から12名の学生を理工学研究科で、中国・雲南農業大学から10名（うち本事業の支援対象6名）の学生を農学部で受け入れました。鹿児島大学の学生とともに、相互交流を重視した国際共修プログラムを鹿児島にて実施しました。

Photo taken in Japan



KUFSA（鹿児島大学
留学生会）のイベント
に参加しました！！



受入:理工学研究科
マレーシアアトレンガヌ大学

福岡大学病院で開催された
学会に参加しました！



受入:医学部
ディボネゴロ大学

鹿児島湾で研究に関連
するサンプルを採取
しました！



受入:理工学研究科
マレーシアアトレンガヌ大学

たくさんのご支援を ありがとうございました！

～ご支援いただいたプロジェクト，研修～

国際学会特別研修
in アメリカ合衆国



進取の精神海外研修
in ベトナム



医学部選択実習
in ドイツ



医学部選択実習
in インドネシア



離島・地域母子保健学演習
in イギリス



国際感覚を持つ
バイテク人材育成
in タイ



成功大学（台湾）
in 鹿児島



...and more!

Webサイトのご案内



鹿大「進取の精神」支援基金
学生海外派遣事業、留学生受入推進事業Webサイト
<https://shinshu.gic.kagoshima-u.ac.jp/>



鹿大「進取の精神」支援基金
基金メインWebサイト
<https://www.kagoshima-u.ac.jp/kifukin/cat1352/post-19.html>

鹿大「進取の精神」支援基金 令和6年度事業報告書

学生海外派遣事業、留学生受入推進事業

発行日 令和7年8月

発行者 鹿児島大学国際事業課

〒890-0065

鹿児島県鹿児島市郡元1-21-30

099-285-7017

ku-intl@kuas.kagoshima-u.ac.jp